



ATLA

Acquisition, Technology &
Logistics Agency

Contact

防衛装備庁

長官官房人事官付 採用担当

〒162-8870 東京都新宿区市谷本村町5番1号

03-3268-3111 (内線番号 35823、35826)

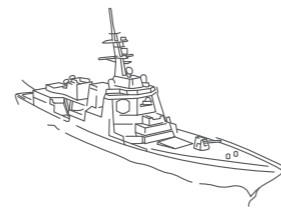
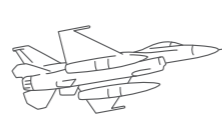
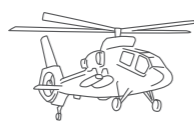
<https://www.mod.go.jp/atla/>



ホームページ



採用情報サイト



※本採用案内は令和6年2月に作成したものであり、その時点での情報を掲載しています。
※本採用案内に掲載されている写真・文章等の無断転載・複写を禁止します。

あなたの仕事が
世界のニュースになる。

防衛装備庁

防衛装備庁 [2025 採用パンフレット]

国家公務員採用一般職試験

(大卒程度試験・高卒者試験)

防衛省専門職員採用試験

あなたの仕事が 世界のニュースになる。

近年の世界情勢により日本の安全保障は以前にも増して注目を浴びています。
さらには自然災害の発生増加に伴い、自衛隊の活動が報じられることも多くあり、
その活動は日本だけでなく、世界的に報道されています。
画面に映し出される戦車、護衛艦、戦闘機、ミサイル、迷彩服。
そして日々必要となる食糧、燃料。
これら“防衛装備品”は自衛隊の運用において必須のものであり、
その防衛装備品に関わる行政を行っているのが、防衛装備庁です。

あなたが関わった仕事が、世界的なニュースとなって広まっていく。
これだけ社会的意義の高い、そしてスケールの大きい仕事はほかには中々ないでしょう。
やりがいを持って、日本の安全保障を支える仕事。
あなたの力と可能性を防衛装備というフィールドで発揮してみませんか。



Contents

02	メッセージ・目次
04	若手に聞いた! 防衛装備庁を表すONEフレーズ
05	データで見る防衛装備庁
06	防衛装備庁の組織・所在地
08	防衛事務官って何?
09	長官官房
10	装備政策部
11	プロジェクト管理部
12	技術戦略部
13	調達管理部
14	調達事業部
15	防衛省専門職
16	海外で活躍する防衛装備庁職員
17	研究所
18	試験場
19	キャリアステップ・研修
20	ワークライフバランス
22	採用情報・Q&A

What kind of place?

若手に聞いた！ 防衛装備庁を表す ONEフレーズ

防衛装備庁やそこで働く私について、短い言葉で表すと？
若手職員に答えてもらいました。



“**貴重な体験。**”

制度調査という業務で、様々な防衛装備品の製造現場を見られます。

調達事業部 令和4年入庁

“**広報がしたい!**”

防衛に対する理解や支持を得て、国民から信頼される組織にしたい!

長官官房 令和4年入庁

“**ちょうどよい。**”

ちょうどよい残業量と、ほどよい緊張感で過ごせています。

技術戦略部 令和2年入庁

“**技術の発展、肌身で体感。**”

身近な場所で研究開発をしているので、技術の発展を体感できる。

次世代装備研究所 総務課 令和4年入庁

“**人間でいうと成長期。**”

装備行政の重要性が高まるにつれ業務も役割も拡大している。今後注目の省庁のひとつだと思います。

長官官房 令和4年入庁

“**「それって国民に説明できますか?」**”

仕事に取り組む時や判断をする時の心の軸となる言葉です。

調達管理部 令和4年入庁

“**国防の中心。**”

防衛装備庁はどの職種も国防を直接担当し自衛官の業務につながるもの。

調達事業部 令和4年入庁

“**目標達成!**”

困難な業務を達成した時にやりがいを感じます。

次世代装備研究所 総務課 令和4年入庁

“**若手も意見を言いやすい。**”

聞いてもらえる雰囲気があるから自分の意見を上司に話せる。

調達事業部 令和4年入庁

“**多種多様な職員。**”

装備品調達や部隊運用、国会対応等、仕事内容が幅広い。

調達事業部 令和4年入庁

“**縁の下の力持ち。**”

現在のバックオフィス業務は、必ず誰かの役に立っている。

長官官房 令和4年入庁

“**国防という大きな存在。**”

自分が計算したものが実際に艦船に搭載される。微力でも国の防衛に関わっていると実感。

調達事業部 令和4年入庁

“**ワークライフバランス。**”

職場の男性が最近育児休暇を取得。復帰後もテレワークで、仕事と育児を両立している。

プロジェクト管理部 令和3年入庁

“**意見交換が盛ん。**”

所属する課は研究開発の最先端に携わる部署。技術の意見交換がいつも盛んです。

技術戦略部 令和4年入庁

“**協力! 実行!**”

業務の分担はありますが、基本は職員同士協力して政策や制度を実行していきます。

装備政策部 令和4年入庁

“**相談しやすい雰囲気。**”

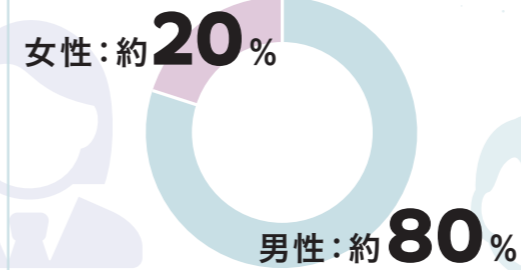
とても親身。指示でも単に「〇〇してね」だけでなく、なぜその業務をするのかを論理的な理由とともに教えてくれます。

調達管理部 令和3年入庁



防衛装備庁「解体新書」 データで見る防衛装備庁

男女の比率



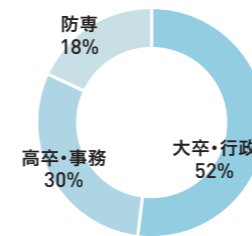
職員数: 約1,850名
男性: 約1,500名 / 女性: 約350名

職種の構成

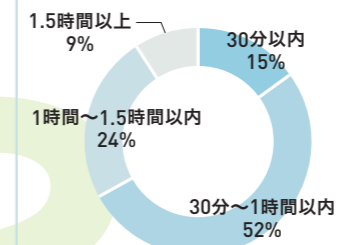
事務官、技官: 約**1,450**名

自衛官: 約**400**名

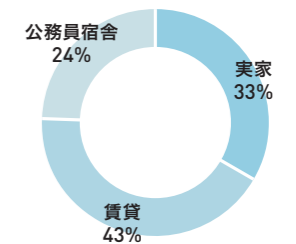
採用区分は?



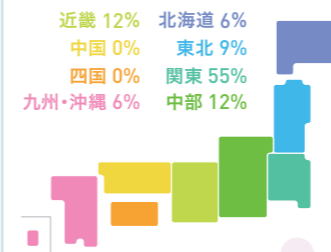
通勤(片道)にかかる時間は?



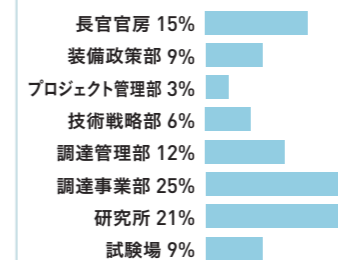
住居の形態は?



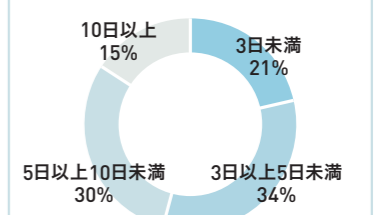
出身地は?



1年目の配属先は?



年次休暇の取得日数は?



(入庁日から約半年にかけて)

平均年齢

男性: **43.95** 歳
女性: **37.96** 歳

育児休業取得率

男性: **45%**
女性: **92%**

2022年度中に子供が生まれた職員に対し、
2022年度中に新規に育児休業を取った職員の割合

平均残業時間

23 時間

2022年度全職員(施設等を含む)1ヶ月
あたりの平均残業時間

防衛装備庁の組織

令和6年2月時点

防衛装備庁は、平成27年10月、防衛省の外局として設置され、装備品等について、その開発及び生産のための基盤の強化を図りつつ、研究開発、調達、補給及び管理の適正かつ効率的な遂行並びに国際協力の推進を図ることを任務としています。長官の下に技術面での責任者である防衛技監、陸・海・空の将官及び技官の4名による装備官、庁内の所掌事務に関する総括整理をし、長官を補佐する審議官が置かれ、長官官房及び5部のほか、研究所・試験場等で構成されています。



所在地

- 防衛装備庁内部部局 東京都新宿区
- 航空装備研究所 東京都立川市
- 航空装備研究所 土浦支所 茨城県稲敷郡阿見町
- 航空装備研究所 新島支所 東京都新島村
- 陸上装備研究所 神奈川県相模原市 東京都目黒区
- 艦艇装備研究所 東京都目黒区
- 艦艇装備研究所 川崎支所 神奈川県川崎市
- 艦艇装備研究所 岩国海洋環境試験評価 サテライト 山口県岩国市
- 次世代装備研究所 東京都世田谷区
- 次世代装備研究所 飯岡支所 千葉県旭市
- 千歳試験場 北海道千歳市
- 下北試験場 青森県下北郡東通村
- 岐阜試験場 岐阜県各務原市



※令和6年度に組織改編予定

防衛事務官って何？

中々なじみのない防衛事務官という仕事。実際にはどのような役割を担って、どのような仕事をしているのか、簡単に紹介します。

防衛事務官とは

根拠：国家公務員法 第二三条項十六号
任務：防衛省設置法 第四十条 事務官は、命を受けて、事務に従事する。

防衛事務官と自衛官はどう違うの？

防衛事務官は特別職の国家公務員で、防衛省の事務に従事する職員を指します。仕事の内容は、安全保障や防衛力の計画、予算の編成、政策の企画・立案、国際協力の調整、装備品の調達等。同じく防衛省で働く自衛官とは違い訓練や作戦行動を行うことはありません。



具体的にはどんな働き方をするの？

具体的な仕事は勤務する部門によって大きく違い、その内容は幅広く多岐にわたります。防衛装備庁で勤務する防衛事務官の仕事内容については次ページから始まる各所属の紹介をご覧ください。

また、近年は休暇に対する支援や仕事と家庭の両立をサポートする制度の充実が進んでいることから、育児や介護等をする職員でも柔軟に働ける職場環境になっています。

一般的な公務員とはどう違う？

防衛事務官は特別職の国家公務員ではあるものの、一般職国家公務員に適用される人事院規則や給与法を準用しているため一般職国家公務員との違いはありません。違いが大きく表れるのは自衛官です。自衛官は勤務の特殊性から、自衛隊法で独自に規定された待遇になっています。



Secretariat

長官官房 装備開発官(艦船装備担当)付 総括室 令和5年入庁 / 一般職・高卒 / 事務



長官官房

- 総務や会計及び人事等、庁内の内部管理や人材育成を実施します。
- 庁内の監察・監査、装備品の考案、設計、試作を行います。(防衛装備品の取得に関わる業務の公正性・透明性を確保することを目的とする)

誠実・確実を胸に 秘書として支える。

秘書業務として高官のスケジュール管理等を主に実施しています。最初のころは自衛隊独特の階級や用語に苦戦しながらも、周りの人たちに一つひとつ確認を取りながら、現在では誠実かつ確実にスケジュール管理をできるようになりました。また、課内の庶務係として文書管理者の補助や他の部署からの依頼を課内に共有する取りまとめ等も行っています。

この仕事の魅力・やりがい

入庁当初は、制服を着た堅い印象の自衛官の方々どう接してよいか不安に感じていましたが、いざ接してみるとみなさん明るく親切で、すぐに不安はなくなりました。職場の方々からは仕事のことはもちろん、今後必要となるお話や仕事以外のためになるアドバイスももらっています。防衛装備庁の研究開発に直接携わるわけではありませんが、自分が実施している秘書・庶務業務が課内のみなさんの業務に貢献している実感があります。

大切にしてほしい考え方・心の持ち方

国民を守るという強い信念のもと、一生懸命働いている方が多く、とても尊敬できる人たちがばかりです。私も防衛装備庁職員としてその活動の一端を担っていると考えると非常にやりがいのある仕事。応募を検討している学生のみなさんもぜひ防衛装備庁で自分のやりがいを探してみてください。



装備政策部

- 防衛装備行政に関わる政策全般を担当します。
- 調達に関連する制度の総合調整及び防衛産業等の情報保全に関する業務を実施します。(産業基盤の強靱化や諸外国との防衛装備・技術協力、装備品等)

情報保全を担うという責任。

防衛産業の情報保全に係る業務を担う部署で、情報セキュリティ基準に関する業務を行っています。令和5年度から情報セキュリティ基準が新しくなったことで企業や他部署からの問い合わせが多数あり、その対応を主に行っています。また、企業との打ち合わせや課内での会議の調整等、様々な業務を担当しています。

この仕事の魅力・やりがい

日本を守るための役務を担ってくれている企業がどのように新しい情報セキュリティ基準に対応していくのか、その流れを見ることができるところに魅力を感じています。新しい情報セキュリティ基準をまだ深く理解できず、電話での問い合わせに回答できないことが多々あり焦ることがあります。しかし、職場の方々には忙しいにもかかわらず、分からないことを質問しても丁寧に教えてくださるので、理解したうえで落ち着いて回答することができています。

大切にしてほしい考え方・心の持ち方

防衛装備庁には、事務官・技官・自衛官と多様なバックグラウンドを持った職員がいることで、様々な価値観に触れることができます。業務については初めての経験ばかりですが、自分の考えも持ちつつ他の職員の考え方も柔軟に取り入れることで成長していけると思っているので、常にいろいろな人から何かを吸収できるようにしようという思いが大切だと考えます。

プロジェクト管理部

- 防衛装備品の効果的かつ効率的な取得を進めるために防衛装備品のライフサイクルに関するプロジェクトの管理をします。(構想や研究・開発、運用・維持及び廃棄等)

防衛装備品の 上流から下流まで。

プロジェクト管理部では、防衛装備品の構想から廃棄に至るまでの各段階を一貫的に管理しています。私は、誘導弾等の装備品を所掌する部署で、課の総括として庶務業務や国会業務等を担当しています。特に国会業務は、国民への説明責任を果たす重要な仕事であり、やりがいを持って働くことができています。

この仕事の魅力・やりがい

私が勤務する部署では、総括担当のほか、装備品ごとに担当が割り当てられています。ある装備品の担当として外部に公表する資料の作成に携わらせていただける機会がありました。入庁直後の経験で分からないことが多く、苦労することも少なからずありましたが、周りの方々に手厚く支えていただきました。防衛装備庁には優しい方が多く、相談しやすい雰囲気があるので、安心して業務に臨むことができると思います。

大切にしてほしい考え方・心の持ち方

就職先を決めるということは決して簡単なことではありません。困ったら周囲の人に相談してみてください。相談するということは、就職後においても同様に大切なことだと思っています。防衛装備庁は相談しやすい環境が整っている働きやすい職場ですので、就職先のひとつとしてご一考いただければ幸いです。みなさんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



技術戦略部

- 防衛装備品を効果的かつ効率的に創製するための技術政策や各種研究事業の構想、立案を行います。
- 国内の研究機関や諸外国との研究開発における技術交流等を実施します。

調達管理部

- 調達及び品質の確保に関する制度を企画立案します。(防衛装備品の調達をするうえで必要な原価計算や契約等)
- 企業における生産性活動の効率化促進や経理の適正性の調査を実施します。

今までにない装備品を生み出すために。

私の所属する課では装備品等の研究開発に関する制度の企画及び立案や業務計画の作成、予算要求等を行っています。その中で私は、課の総括業務を担当しており、課内の庶務業務をはじめ、国会業務等に関する様々な依頼や照会に対応しています。

装備品の工場で業務の進行を最適化。

調達管理部企業調査官付で工数審査業務を行っています。防衛装備品の製造・修理等をしている工場に出向き、作業現場における作業効率等の調査・分析を行い、業務の進行をスムーズにし、生産性を向上させるための取り組みを行っています。

この仕事の魅力・やりがい

私が担当している総括業務は、多岐にわたる業務を正確かつ迅速に対応する必要があります。日頃から課内の業務を理解し、意思疎通を図ることが重要と考えています。事務職では中々携わることのない分野の案件は、研究職の方に話を伺いながら物事を進めることが多いですが、みなさん懇切丁寧で課内は話しやすい雰囲気のため、複雑な依頼にも臨機応変に対応できていると思います。一人で悩んだり抱え込んだりすることがない点が当課の最大の魅力です。

大切にしてほしい考え方・心の持ち方

大切にしてほしいことは、常に学びの姿勢でいることです。受け身になるのではなく、アンテナを立てながら様々なことを吸収し、自分のスキルアップにつなげていくことは、新人の枠を超えた後もずっと大切にしていってほしいと思います。

この仕事の魅力・やりがい

調達管理部企業調査官付の業務では工場への出張が多いです。出張の中で陸・海・空の幅広い防衛装備品の製造現場を実際に見ることができることや、企業の方々の話から得られる気づき等が多いところに魅力を感じています。また職場では柔らかい雰囲気の方々ばかりで、業務に関することからプライベートなことまで気軽に相談できるくらいの良好な関係を築けております。

大切にしてほしい考え方・心の持ち方

防衛装備庁は陸・海・空の幅広い装備品の業務に携わることのできる組織です。「国防に携わる自衛隊に憧れるが体力に自信がない」「装備品に興味がある」という方にはピッタリな組織。これを読んでいる方と一緒に働ける日が来ることを楽しみにしています。就職活動頑張ってください。応援しています。



調達事業部

- 中央調達に関する事務を実施します。(自衛隊の任務遂行に必要な防衛装備品や役務についての予定価格算定や契約の締結、契約履行の管理等)

会計や契約の観点から 国防の基盤をつくる。

防衛省が米国の安全保障政策の一環である有償援助(FMS)調達で装備品を輸入する際の契約に関わる部署に所属しています。私は米海軍省等から購入した装備品が自衛隊に納入された後に行う会計業務を担当。米国に対する照会や会議の際は、資料の翻訳等の語学支援業務も行います。

この仕事の魅力・やりがい

FMSで調達する装備品は高性能かつ高額なものが多く、日本の防衛力として重要な位置を占めるものになるため、若手職員であっても、わが国の安全保障の一翼を担っているということを強く意識させられる業務に携わることができます。円滑に進む業務ばかりではありませんが「この方のように調整業務や対米交渉ができる職員になりたい」という気持ちを抱かされる上司に囲まれ、助けていただきながら充実した毎日を過ごしています。

大切にしてほしい考え方・心の持ち方

装備品に関心があり、防衛装備行政を通して安全保障に貢献したいと考えている方には最適な職場だと思います。採用においては、専門知識を持っているか否かより、様々な部署や立場・階級の方とともに動くにあたって、気持ちのよいコミュニケーションをとろうとする心持ちや協調性があるかどうかが重視されているのではないかと思います。

防衛省専門職

- 語学力を活かし、海外から防衛装備品を調達する際の調整役を担います。
- 米国政府から直接調達を行う有償援助調達と日本の商社を通じて海外製造企業から調達を行う一般輸入調達の両方に関わります。

語学を武器に 世界と折衝を図る。

日米相互防衛援助協定(MDA協定)に基づく政府間取引である有償援助(FMS)調達に携わっています。日々の業務としては日本に納入された物品と米国の請求の突き合わせをし、疑問があった場合に米国政府に対して問い合わせを行います。また、米国との会議の際には資料作成や通訳業務等の語学を用いた仕事を行っています。

この仕事の魅力・やりがい

日本の安全保障体制において有償援助調達は不可欠な要素であるため、日々の業務で国防の一翼を担っていると感じさせられる場面も少なくありません。加えて自らが調達に関わった装備品をニュースや新聞で目にすることで、自分の仕事に実際に意味ある仕事だと認識できます。また、早い段階から国際会議に参加する機会を与えられるため語学専門職としてのやりがいも強く感じることができます。

大切にしてほしい考え方・心の持ち方

語学専門職といえど、常に語学に係る仕事のみ任されることはありません。特に防衛装備庁は会計機関としての側面を持ち合わせているため、数字に対する几帳面さ、誠実さが求められます。入省後に自分の行っている業務がどのような位置づけにあるかを意識するためにも基本的な日本の安全保障に関する書籍を読んでおくといかもかもしれません。

海外で活躍する防衛装備庁職員

防衛装備品には海外からの輸入品が多数あり、その中には日本の商社を通じて海外製造企業から輸入する装備品と米国国防省から直接輸入する装備品があります。海外製造企業からの輸入においては適正な価格で、かつ、必要となる時期に確実に納入してもらうため、米国に輸入調達専門官を派遣し、海外製造企業を直接訪問。契約価格の適正性の確認や契約の履行促進等を行っています。また、米国国防省からの直接輸入でも同様に、米国に有償援助(FMS)調達専門官を派遣し、早期の契約締結や輸入品の出荷販売促進等の調整を米国国防省との間で実施しています。

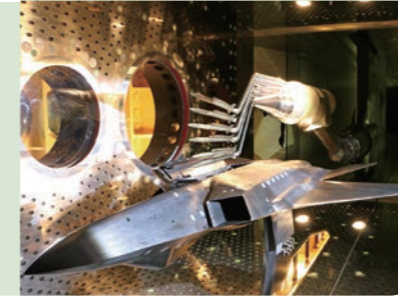


<p>A</p> <p>サンフランシスコ 1名</p>	
<p>B</p> <p>ロサンゼルス 3名</p>	
<p>C</p> <p>デイトン 1名</p>	
<p>D</p> <p>ワシントンD.C. 4名</p>	

研究所

航空装備研究所

航空機及び航空機用機器、並びに誘導武器についての研究、試験評価を行っています。



陸上装備研究所

火器、弾薬類、耐弾、耐爆材料及び構造、車両、車両用機器、施設器材、理化学機材、衛生資材、個人装具、CBRN対策技術、人間工学についての研究、試験等を行っています。



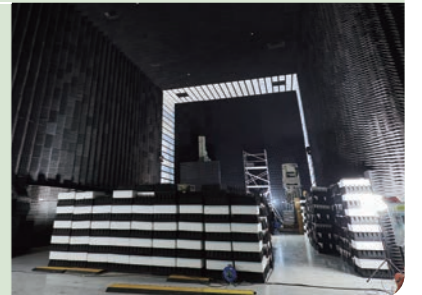
艦艇装備研究所

将来の海洋戦の方向性を見据えた船舶や船舶用機器、水中武器、音響器材、磁気器材、掃海器材についての考案、調査研究、試験、企画に関する業務を行っています。



次世代装備研究所

装備品等の研究開発に応用される先進技術と複数の装備等に関連する領域横断的な分野、情報・通信、防衛エレクトロニクスを担当しています。



考え方や文化の違う国での経験が自身の視野を広げてくれる。

仕事の内容

在米連絡官当時は、主な業務内容として米軍関係者や在米の防衛装備品製造企業担当者との各種調整をしていました。有償援助(FMS)調達に関する業務や一般輸入品価格調査の業務で意識していたことは、日本側の要望・確認事項を伝える際の米国側担当者との緊密な連携や解決手段の丁寧な模索等。それらを念頭に置きながら業務を行っていました。

この仕事で学んだこと

文化の違う国で、考え方やバックグラウンドが異なる人たちとの調整は大変な面もありますが、その壁を乗り越えることによって自分自身の考え方の幅が広がり、業務を俯瞰して見ることができるようになります。また、失敗や恥をかくことを恐れるのではなく、まずは思ったとおりに行動してみるという思い切りのよさも海外生活では重要だと感じました。



長官官房総務官付 情報システム管理室
平成21年入庁/防衛省職員採用/II種/行政

就活生へのメッセージ

就職活動では現在の自分の特性を活かせる職種を探そうとする方も多いと思いますが、日々の仕事の中や他業種の方々との関わりの中で自分の知らなかった特性に気づくこともあります。当庁を検討しているみなさんも、ぜひいろいろな業種や部門で働く人たちと触れ合い、自身では気づかなかった一面を探してみてください。

艦艇装備研究所の庶務として先進の研究をサポートする。

仕事の内容

私は艦艇装備研究所で、庶務係として研究所の窓口業務を担当しています。仕事内容としては研究所に必要な物品・役務等の調達要求や、視察・見学時の配車、食事、場所の手配等といった“ロジ対応”と呼ばれる業務です。研究所への入門手続きや施設の環境整備に係る書類の作成、会議の準備等も含まれ、その業務は多岐にわたります。

この仕事のやりがい

この研究所は、将来の海洋戦能力向上に向けた艦艇の雑音低減の研究や海洋の無人機開発に係る研究等に取り組んでいます。研究開発の様子を間近で感じられ、自分の仕事が微力ながらもそれを支えているという実感を持てる職場です。研究施設の維持管理やこれに係る行政手続きは難しいことも多いですが、周りの上司や先輩の支えにより日々成長を感じています。



艦艇装備研究所 総務課
令和5年入庁/一般職・高卒/事務

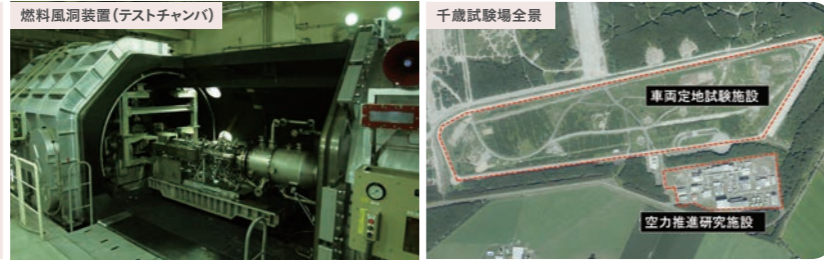
就活生へのメッセージ

将来、仕事が思うようにいかず落ち込むこともあると思います。そういう時は一人で抱え込み過ぎないようにしてください。確かに一人で解決できることはよいことですが、すべて一人で解決すべきという心持ち方はしないでほしいです。防衛装備庁には頼れる上司や先輩方がたくさんいらっしゃいます。本当に困った時には必ずあなたの力となってくれるはずですよ。

試験場 防衛装備庁では大規模な試験等を実施するための3つの試験場を所有しています。

千歳試験場

わが国最大のエンジン高空性能試験装置及び三音速風洞装置等を有し、航空機及び誘導武器の性能評価に欠かせない施設です。また、様々な車両走行性能を評価可能な車両定地試験施設もあり、多くの装備品の創製に寄与しています。



下北試験場

火器及び弾火薬類の性能に関する試験を行うことが可能な国内有数の試験場です。近年はドローンを活用した試験支援や安全管理の要領を検討する等、従来の手法に縛られず自由な発想で研究を実施しています。



岐阜試験場

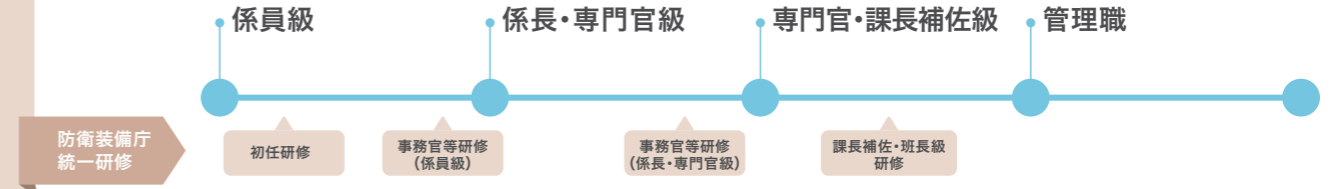
防衛装備庁が開発した航空機や搭載する機器の性能に関する飛行試験並びに航空機を使用しての航空機搭載誘導武器の性能試験を実施し評価をしています。また試験計測用の回転翼機を用いて、各研究所が行う装備品の試験研究の支援も行っています。



キャリアステップ

行政職

採用後は、ほぼ2~3年のサイクルで人事異動があります。基本的には防衛装備庁で勤務することになりますが、それだけでなく防衛省の様々な機関での勤務や地方勤務、場合によっては他省庁勤務や海外勤務の機会もあります。様々な経験を積み、視野を広げ管理職を目指していきます。



※採用時、防衛省合同初任研修も受講。

研修

採用後の業務の内容に応じて用意されている研修を紹介します。※あくまでも一例

防衛装備庁行政職等初任研修

新規採用者が職員としての基礎知識や心構えを習得するための研修です。

- 防衛省及び防衛装備庁の概要
- 陸・海・空の自衛隊の概要
- ビジネスマナー
- メンタルヘルスマネジメント

取得マネジメント研修

プロジェクト管理に従事する職員・関係者を対象に“取得マネジメント”等に必要知識・技能を習得するための研修です。

- 取得マネジメント基礎
- 取得マネジメント応用I
- 取得マネジメント応用II
- 取得マネジメント実践

調達・会計研修

調達・会計業務に従事する職員を対象に調達や物品管理、監督検査等に必要知識・技能を習得するための研修です。

- 調達初級/中級/上級
- 簿記初級
- 簿記中級

国際関係研修

海外勤務者や装備協力等業務に従事する職員等を対象に国際関係や貿易管理、語学等に関する知識・技能を習得するための研修です。

- 武器輸出管理制度
- レベル別実用英語
- 英語(通訳技能)
- 英語ネゴシエーションスキル

自衛隊職員から近い距離で ありがとうと言われるよろこび。

仕事の内容

私は岐阜試験場で庶務の業務を担当しており、手がける仕事の幅はとても広いです。給与業務では職員の勤務状況管理や諸手当の認定処置を行い、毎月の給与内容をチェック。旅費業務では出張計画を確認して旅費を精査します。また、航空自衛隊岐阜基地の自衛隊職員の方々との調整も仕事のひとつ。書類の提出等で直接お会いすることもあります。



この仕事のやりがい

岐阜試験場は事務官・技官・自衛官が近くで働いており、様々な職種の方と関わって楽しいです。庶務は職員が諸手当や育児休業等の申請書類作成の際に様々な相談を受けます。規則や要件等をしっかり理解していないと答えられないため、空き時間を利用して自分で調べて勉強しています。「助かったよ、ありがとうね」と言ってもらえた時はとてもやりがいを感じます。

就活生へのメッセージ

仕事は人づきあいの中で行われるという言葉を実感してほしいです。コミュニケーションは業務を円滑に進めるだけでなく、自身の成長にも役立ちます。先輩や上司とたくさん会話するうちに多くの知見を得られ、興味を持てるものがきっと見つかると思います。積極的に物事を知ろうとする姿勢、新しいことに挑戦していく姿勢を持って、人づきあいをしてみてください。

ワークライフバランス

多くの職員が様々な仕事をしている防衛装備庁。仕事内容と同じく生活環境も一人ひとり様々です。防衛装備庁では、育児や介護等職員それぞれのライフスタイルをサポートする制度を数多く用意しています。



長官官房人事官付 平成21年入庁 / 防衛省職員採用 / Ⅲ種 / 事務

現在の勤務形態：通常勤務9:30～18:15

現在の仕事内容：事務・行政の採用業務

- 官庁訪問や採用面接の全般的な対応
- 選考採用や非常勤採用業務の補佐として面接官やハローワークへの求人登録、採用の発令等
- ワークライフバランス担当業務として制度の問い合わせ対応や改正等の通知、勤務管理ツールの管理
- 兼業兼職の担当としての問い合わせ対応や承認業務

子供：4歳と2歳の2人の子育て中

利用したことのある制度

- 配偶者の出産休暇
- 育児参加のための休暇
- 子の看護休暇
- フレックスタイム制
- テレワーク

男性育休取得者も多い防衛装備庁

防衛装備庁では様々なワークライフバランス(WLB)制度を活用している方が多く男性の育休取得者もたくさんいます。私は昨年まで防衛省の他機関で勤務しており、平日は朝早くから夜遅くまで勤務して子供の手話は育休中の妻に頼っていました。しかし妻の復職を機に、私も子育てや家事をするためWLBに理解のある防衛装備庁を希望して異動しました。

1日の流れ



※超過勤務の月平均は23時間。この数字は平均なので残業を毎日1時間しているわけではなく、繁忙期に残業をするイメージです。

ワークライフ バランスに 理解ある職場

防衛装備庁に来てからはまず出勤時間が定時の9時30分となり保育園へ送ることができるようになりました。そして保育園の行事や子供の病気等の時には各種休暇やテレワークを利用。特に子供が病気の時等突発的に休む必要が生じた時も、防衛装備庁には女性職員や子育て経験のある方が多いので理解を得られやすく安心して休めます。

仕事と家庭生活の 両立支援制度

職員の仕事と育児・介護等を両立するための様々な制度があり、多くの職員が活用しています。(あくまでも一例です。)

不妊治療休暇

不妊治療に係る通院等のため年間5日の範囲内で休暇を取得できる制度(場合により10日)

産前・産後休暇

出産予定日の前6週から産後8週までの期間、休暇を取得できる制度

育児休業

子が3歳に達するまで、子を養育するために認められる休業制度

育児時間

1日の勤務時間の一部(2時間まで)を小学校就学前の子の養育のために充てられる制度

育児短時間勤務

小学校就学前の子を養育するため、勤務時間を1日3時間55分(週19時間35分)等に短縮できる制度
※通常は7時間45分(週38時間45分)

介護休暇

配偶者、父母、子、配偶者の父母等の介護のため、6ヶ月の期間内で必要と認められる期間、休暇を取得できる制度

配偶者の出産休暇

男性職員が妻の出産に伴う入院の付き添い等を行うために休暇を取得できる制度(2日)

育児参加のための休暇

男性職員が妻の産前産後期間中に出産に係る子または小学校就学前の子を養育するために休暇を取得できる制度(5日)

子の看護休暇

小学校就学前の子を看護するために年間5日の範囲内で休暇を取得できる制度(場合により10日)

早出遅出勤務

養育・育児または介護等のために始業・終業の時刻の変更を認める制度

フレックスタイム制

勤務時間を5～22時の間で変更できる制度(コアタイムあり)

テレワーク

業務効率の向上、負担軽減及び両立支援を図るため自宅で勤務する制度

防衛省職員の ワークスタイル事例集



防衛省職員のための 両立支援ハンドブック

各試験の採用予定区分

令和7年度採用予定者については、以下のとおりです。

国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験)	「行政」 ※「行政」区分では、すべての採用区分の合格者から本省採用を行っております。
国家公務員採用一般職試験(高卒者試験)	「事務」
防衛省専門職員採用試験	「英語」

採用実績

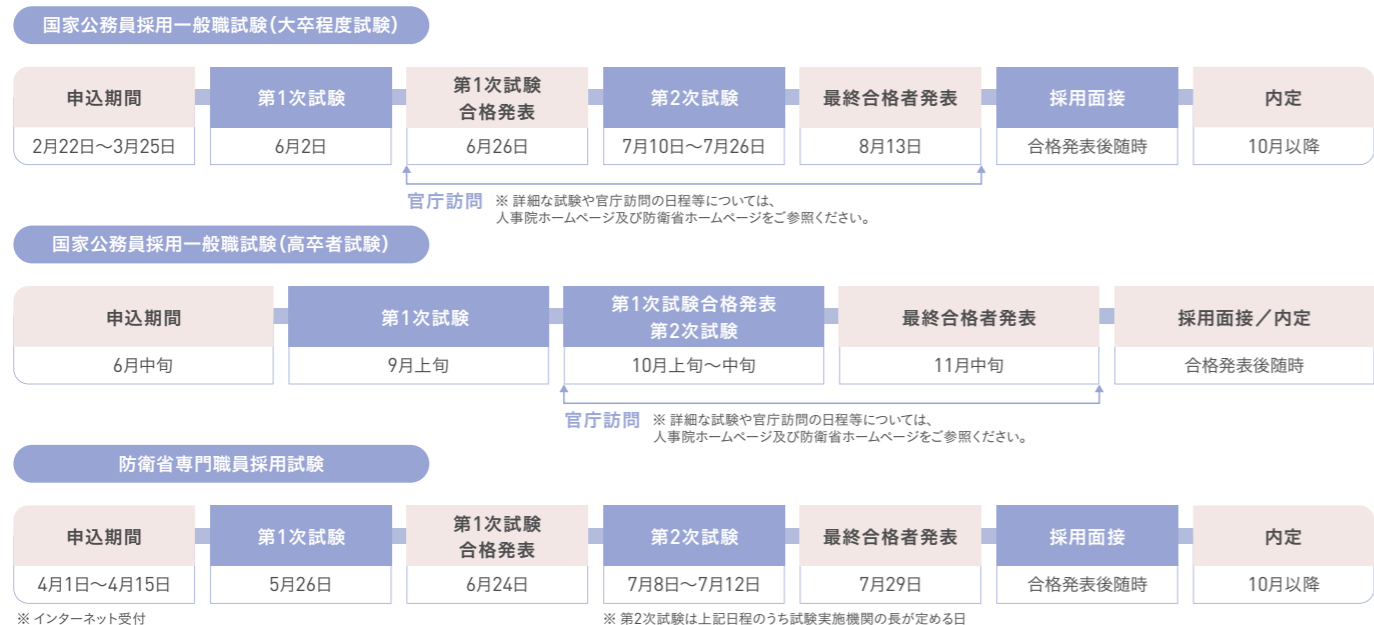
令和2年以降の採用状況は、以下のとおりです。(令和6年度については予定数となります。) ※()内は女性の人数で、内数。

採用年度	大卒程度試験			高卒者試験	専門職試験
	行政	デジタル・電気・電子 行政職採用	機械 行政職採用		
令和2年度	12(3)	0	1	10(6)	—
令和3年度	16(6)	0	1(1)	16(8)	2(2)
令和4年度	25(10)	0	0	15(11)	0
令和5年度	17(6)	1(1)	1	12(8)	6
令和6年度	30(10)	0	0	6(4)	8(4)

主な勤務条件

採用時の給与は、採用される職務、経験、勤務地等によって異なります。表は、新規卒業者で東京都特別区に勤務した場合の一例。										
給与	<table border="1"> <tr> <td>一般職(大卒程度)</td> <td>行政職俸給表(一) 1級25号俸の場合</td> <td>235,440円</td> </tr> <tr> <td>一般職(高卒者)</td> <td>行政職俸給表(一) 1級5号俸の場合</td> <td>199,920円</td> </tr> <tr> <td>防衛省専門職</td> <td>行政職俸給表(一) 1級25号俸の場合</td> <td>235,440円</td> </tr> </table>	一般職(大卒程度)	行政職俸給表(一) 1級25号俸の場合	235,440円	一般職(高卒者)	行政職俸給表(一) 1級5号俸の場合	199,920円	防衛省専門職	行政職俸給表(一) 1級25号俸の場合	235,440円
一般職(大卒程度)	行政職俸給表(一) 1級25号俸の場合	235,440円								
一般職(高卒者)	行政職俸給表(一) 1級5号俸の場合	199,920円								
防衛省専門職	行政職俸給表(一) 1級25号俸の場合	235,440円								
手当	住居手当、通勤手当、扶養手当、超過勤務手当、期末・勤勉手当(いわゆるボーナス)等									
勤務時間	1日7時間45分(原則として土曜日、日曜日、祝祭日は休み)									
休暇	年20日の年次休暇(4月1日採用の場合、採用の年は15日)、病気休暇、介護休暇、特別休暇(夏季・結婚・忌引き等・ボランティア等)があります。									
その他	育児休業、育児短時間勤務、早出遅出勤務、フレックスタイム制等の体制も整っており、活用している職員が多くいます。									

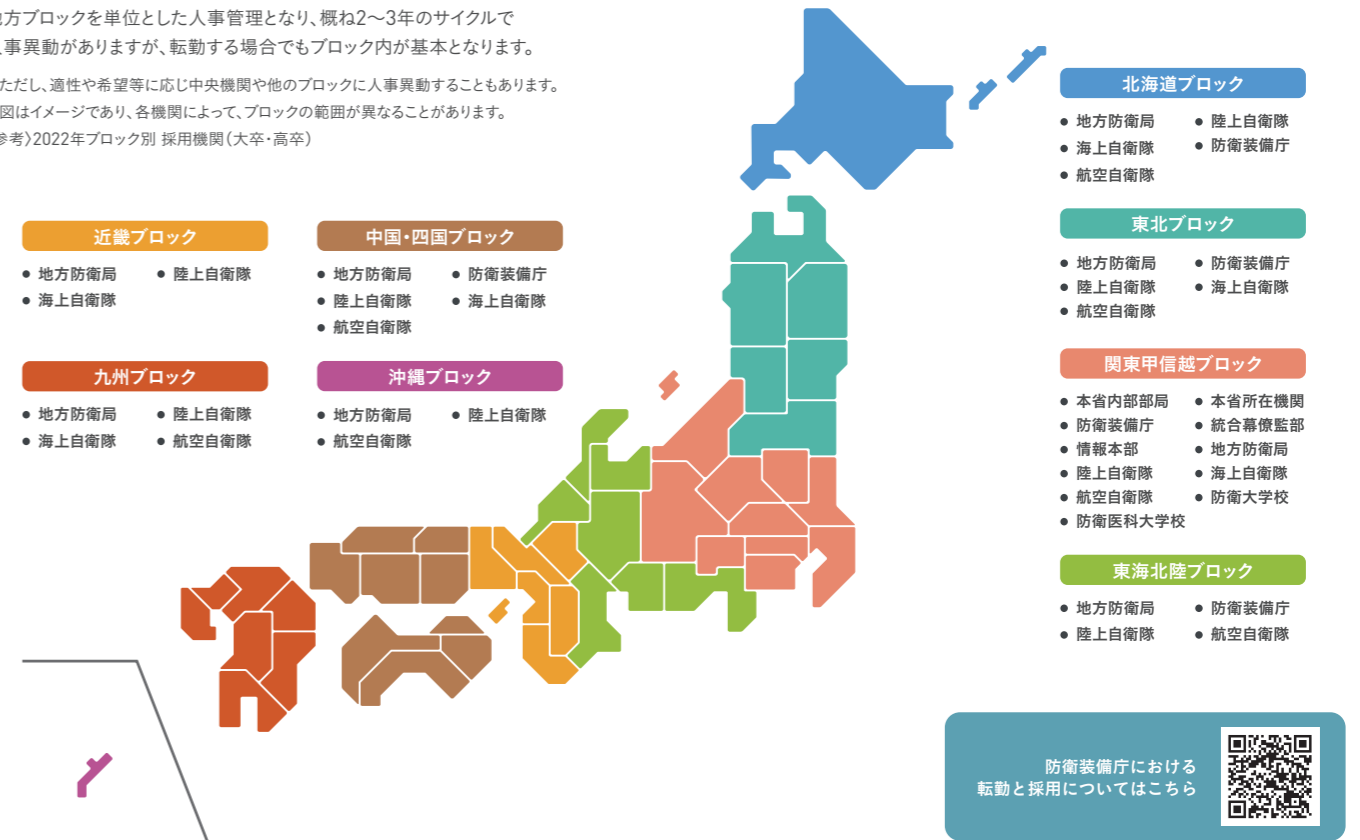
採用スケジュール



転勤・ブロック管理紹介

転勤や単身赴任を削減していくため、採用後は中央機関(市ヶ谷地区)と地方ブロックを単位とした人事管理となり、概ね2～3年のサイクルで人事異動がありますが、転勤する場合でもブロック内が基本となります。

※ただし、適性や希望等に応じ中央機関や他のブロックに人事異動することもあります。 ※図はイメージであり、各機関によって、ブロックの範囲が異なることがあります。 (参考)2022年ブロック別 採用機関(大卒・高卒)



防衛装備庁における
転勤と採用についてはこちら

採用に関するQ&A

- Q 防衛装備庁が求める人材とはどのような人材ですか?**

防衛装備庁では若手職員にもどんどん仕事を任せて経験を積んでいただきます。ですので、失敗を恐れずどんなことでも前向きかつ、積極的に業務に取り組んでいただける方と一緒に働きたいと思っています。分からないことがあったら、自分で調べたり先輩に聞いたり、少し前のめり気味なくらいのスタンスで勤務していただけると嬉しいです!
- Q 防衛装備庁を志望するうえで、必要となる知識や資格はありますか?**

事務官・技官にかかわらず入庁前に何か知識を身につける必要はございません。入庁後に研修があり、業務に応じて知識を身につけることができます。
- Q 大卒程度試験、高卒者試験で関われる業務に何か違いはありますか?**

関わる業務に大差はありませんが、強いて言えば、大卒程度試験の方は政策関係業務に、高卒者試験の方は調達業務や研究開発等の業務につくことが多いです。いずれにせよ幅広い業務につくことができます。
- Q 異動のサイクルはどのくらいですか? 引越しを伴う転勤がありますか?**

概ね2～3年で異動があります。防衛装備庁内の違う部署に異動というケースもあれば、防衛省本省、他省庁、海外勤務等様々な経験を積むケースもあります。また、防衛省ではブロック管理を行っておりますので、転勤等においても本人の希望になるべく寄り添えるよう努めています。
- Q 休暇はしっかりとれますか?**

年次休暇は年間20日付与されます(4月1日入庁者は15日)。また、ほかに特別休暇(夏季・結婚・忌引き等・ボランティア等)も取得できます。自分の担当している業務との兼ね合いもありますが、取りやすい職場環境・雰囲気もあるので休みを気軽にとることができます。
- Q 説明会や官庁訪問の情報について教えてください**

防衛装備庁では業務の魅力を発信するため、業務説明会等を実施しています。説明会や官庁訪問の開催日程等については、防衛省HPの採用ページにてお知らせしておりますので、興味のある方はぜひアクセスしてください。

▲防衛省HP 採用ページ